

コスモス うらばなし

とらのあな
購入特典

4p

リーフレット



秋桜が咲いた日に

皆様、「秋桜が咲いた日に」を虎の穴様で
ご購入いただき誠にありがとうございました。
ここではおまけとして本編に掲載されなかった
エピソードをご紹介します。
ちょっとしたこぼれ話として読んでいただけると
幸いです。

違和感を持った方もいらっしゃると思いますが
4話ラストではまつりちゃんが若干ギャル
っぽくなっています。

実はもともと第5話は弘樹の好みに合わせて
ちょっとギャル化したまつりちゃんと弘樹と
のセックスシーンをメインで進めるつもり
で、弘樹が退学して東京に行き、
まつりが一人ぼっちになるというお話を描く
つもりでした。

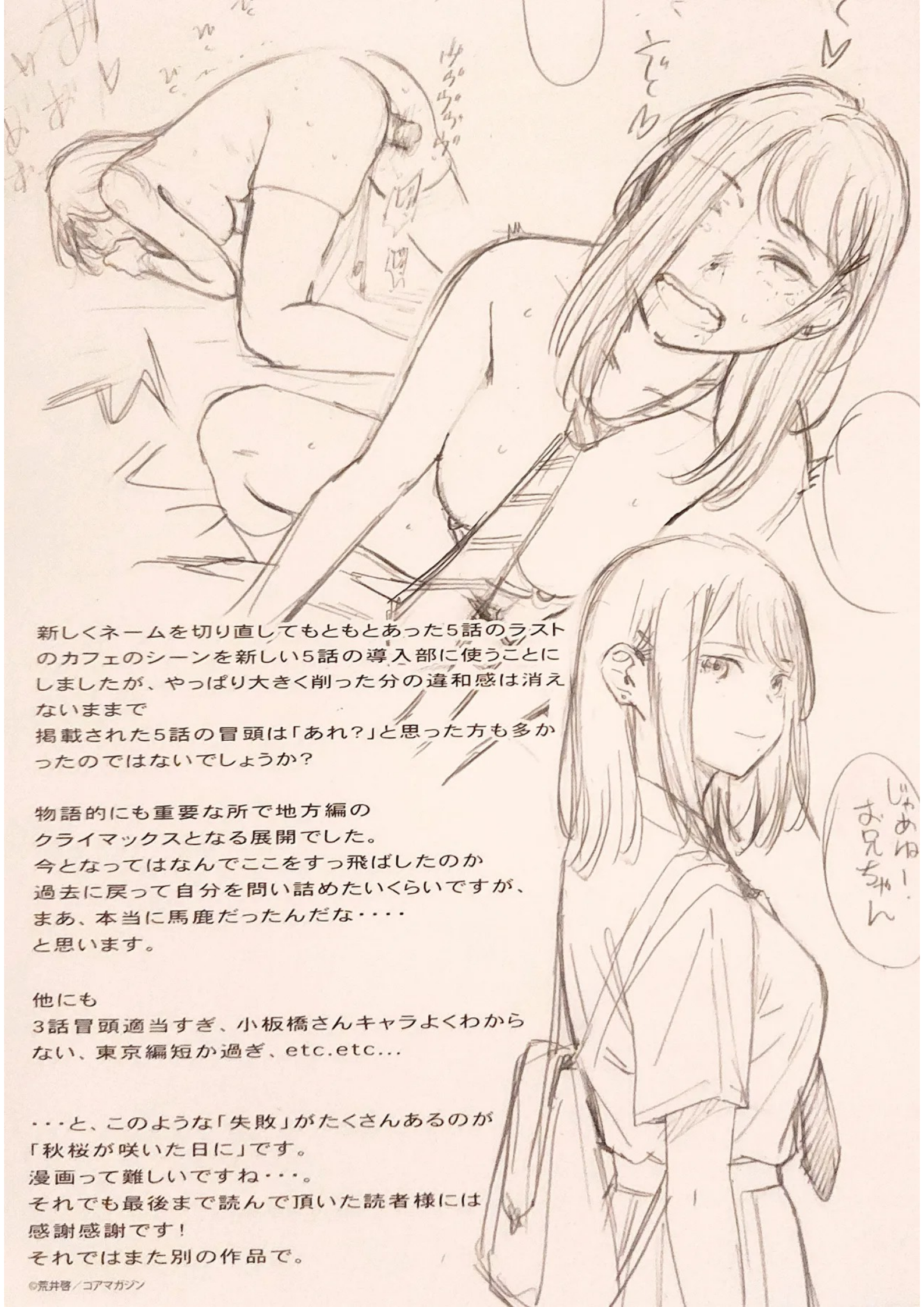
ここでは少し闇堕ちしたまつりを描くつもりで
展開的にはかなり鬱展開な感じです。
伏線を張っていた「弘樹が東京のダチ
から送ってもらったドラッグ」もここで使う
予定でした。

—— 季節が夏に変わる頃、兄は再びまつりに
出会いますが、そこには去年の夏のような無邪気な
まつりの姿はなく、
淡々とした会話の後、仲直りという「お別れ」
をして最後は秋のカフェのシーンへ・・・
というのがもともとの5話のストーリーでした。

もともとの5話も50ページを予定していて
ネームは4話の作業と同時進行してい
ました。

セックスシーンは道具を使った割とハード
めな内容で(賛否別れると思いますが)、
気に入っていたカットも多くあったのですが

結局、4話が終わった頃私の個人的な
事情もあって、相談の結果
「このシリーズは単行本一冊分に収まる
くらいにまとめましょう」ということになり、
進めていた5話のネームはページ数短縮
のために殆どボツにしま
した。



新しくネームを切り直してもともとあった5話のラストのカフェのシーンを新しい5話の導入部に使うことにしましたが、やっぱり大きく削った分の違和感は消えないままで
掲載された5話の冒頭は「あれ？」と思った方も多かったのではないのでしょうか？

物語的にも重要な所で地方編のクライマックスとなる展開でした。
今となってはなんでここをすっ飛ばしたのか過去に戻って自分を問い詰めたいくらいですが、まあ、本当に馬鹿だったんだな……と思います。

他にも
3話冒頭適当すぎ、小板橋さんキャラよくわからない、東京編短か過ぎ、etc.etc...

・・・と、このような「失敗」がたくさんあるのが「秋桜が咲いた日に」です。
漫画って難しいですね・・・。
それでも最後まで読んで頂いた読者様には感謝感謝です！
それではまた別の作品で。